

◆ News Release ◆

各 位

株式会社阪急阪神エクスプレス

～半導体産業の集積が進むインド・グジャラート州サナンド地区・ドレラ地区で、
お客様需要への対応強化～

2025 年 11 月 サナンド事務所開設

阪急阪神エクスプレス(本社:大阪市北区 代表取締役社長:谷村 和宏)のインド法人である HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED(本社:デリー)は、インド西部のアーメダバード市近郊のサナンドに新たに事務所を開設し、11 月 3 日より業務を開始します。

グジャラート州のアーメダバード市近郊に位置するサナンド地区・ドレラ地区は、急成長中の工業地域で、近年は製造業の中心地として世界から注目を集めています。特に、両地区の代表的な工業団地であるサナンド工業団地・ドレラ工業団地では、自動車関連や半導体関連を中心に日系およびグローバル企業が多数進出しています。

同事務所の立地するICDサナンドは、両地区から最も近いICD(*)で、税関が常駐し、事務所棟には通関業者も拠点を構えています。また、ICD で通関したコンテナは配送後に空コンテナを港まで戻す必要がなく、配送コストに大きなメリットがある上、民営であることから柔軟な対応とハンドリングサービスの品質に定評があります。

同事務所では、グジャラート州のムンドラ港・ピパバブ港から ICD サナンドへの保税での鉄道輸送・陸送および ICD サナンドから両地区への配送まで、ICD サナンドを経由する海上輸送の出荷・通関モニタリング等を行います。加えて、ICD サナンド内に常駐する税関や通関業者らとの対面コミュニケーションにより、イレギュラーに対する迅速な対応が可能となります。今後はその強みを活かして、両地区のお客様のニーズに的確にお応えし、更なる事業拡大を目指します。

<事務所外観>



当社はグローバルに展開する高品質な国際輸送サービスとともに、お客様に最適なロジスティクスをプロデュースしています。今後も国内外における拠点ネットワークを拡充し、お客様の幅広いご要望にお応えするサービスを提供してまいります。

(*) ICD:“Inland Container Depot”の略で、内陸のコンテナ蔵置場。

以上

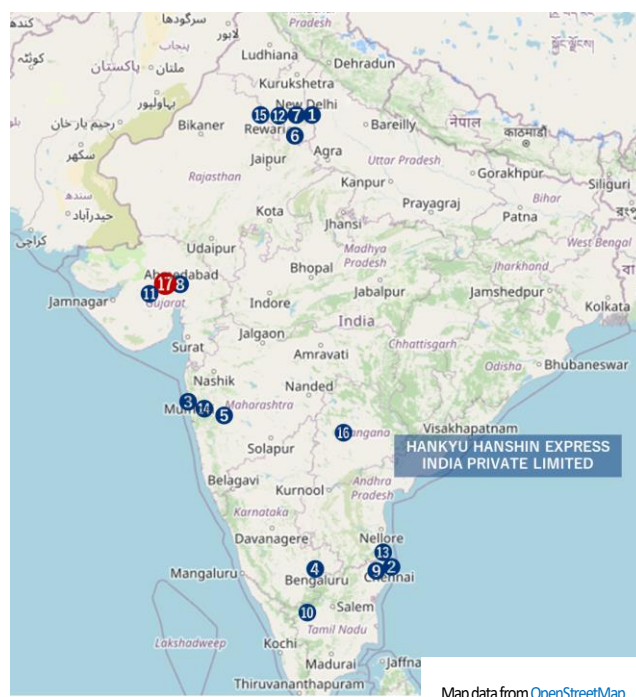
<サナンド事務所概要>

名称	HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED Sanand Office
住所	Office No.2, 2nd Floor, Sanand-Kadi Road, Near Muni Ashram, Tal, Sanand, Dist: Ahmedabad - 382110, Gujarat India
営業開始日	2025 年 11 月 3 日

<インド法人拠点展開>

○HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED		設立年月
①	デリー本社・支社	2009 年 3 月
②	チェンナイ支店	2009 年 3 月
③	ムンバイ支店	2010 年 7 月
④	バンガロール支店	2011 年 1 月
⑤	プーネ営業所	2015 年 1 月
⑥	ニムラナバワル営業所	2017 年 7 月
⑦	デリー空港事務所	2017 年 12 月
⑧	アーメダバード営業所	2018 年 4 月
⑨	チェンナイロジスティクスセンター	2018 年 4 月
⑩	コインバトール営業所	2018 年 8 月
⑪	アーメダバードロジスティクスセンター	2018 年 11 月
⑫	マネサールロジスティクスセンター	2019 年 4 月
⑬	スリシティ営業所	2022 年 1 月
⑭	ナバシェバ港事務所	2022 年 10 月
⑮	マネサールロジスティクスセンターⅡ	2023 年 3 月
⑯	ハイデラバード営業所	2024 年 11 月
⑰	サナンド事務所	2025 年 11 月

<インド法人拠点地図>



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急阪神エクスプレス メディア統括室

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-1450/FAX:03-6745-1458

www.hh-express.com/jp/